

自動車盗

手口と現状

本県における令和3年中の自動車盗難被害は、149件で、前年に比べて36件(31.9%)増加しました。

このうち、鍵を付けたままで盗難被害にあったものが、32件で約2割を占めています。車から離れる時は、必ず鍵を抜き、ドアロックをしましょう。

盗難被害にあった車両のうち、乗用自動車は64%、貨物自動車は10.7%で、建設用重機や農耕機も盗難被害に遭っています。

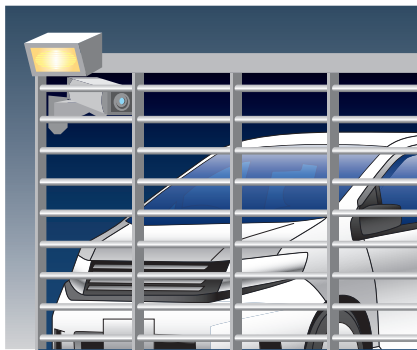
また、盗難防止装置を設置していても被害にあう場合もあります。その多くがプロの窃盗団によるもので、二重三重の防犯対策をとる必要があります。

被害に遭わないために

駐車場対策

- 人が近づくと点灯するセンサー付きライトを取り付ける。
- 外灯や防犯カメラを取り付ける。
- 自宅等の屋内や道路など周囲からの見通しを良くする。

敷地内への侵入防止対策として、出入口にシャッターや門扉を取り付ける。(特にプロの窃盗団による犯行に対しては、強度のある門扉とチエーンロックの二重対策が効果的です。)



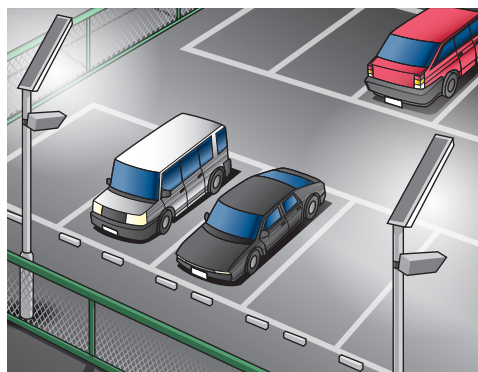
外出先や作業現場での対策

● 短時間でも車から離れるときは、必ずエンジンを切り、鍵を抜いてドアロックをする。(買物や送迎等の際、エンジンをかけたまま車から離れることは絶対にやめましょう。)

● 車内に貴重品、荷物を置きっぱなしにしない。(車は金庫ではありません。車内に置かれたバッグやゴルフバッグなどは、車上ねらい等の被害に遭うおそれがあります。)

● 駐車する際は、窓は完全に閉める。(窓を少しでも開けておくと、泥棒はその隙間を狙います。)

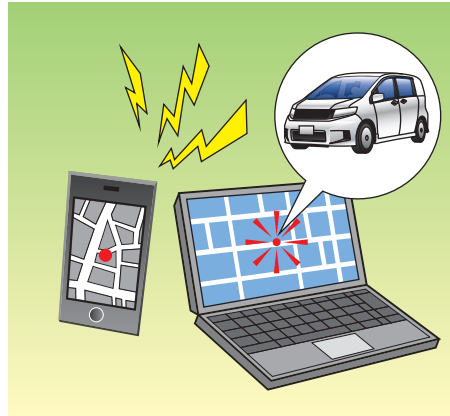
● 明るく監視の行き届いた駐車場を選ぶ。(夜間照明のない駐車場や路上は、泥棒が犯行しやすい環境です。駐車する場所によって狙われやすさが変わります。)



● 貨物自動車、建設用重機、農耕機は、工事現場や畑などに放置せず、車庫等に駐車して、鍵を抜いて保管しておく。(窃盗団は特定の車種ばかりを狙います。同一地域から複数台の被害が出ることもあるため、先手を打った防犯対策が効果的です。)

● 愛車対策

無線や携帯電話で所有者に盗難被害を通報する装置やGPSによって位置を追跡する装置を取り付ける。



● イモビライザーを装着する。

イモビライザーは、コンピュータの電子的な鍵による照合によって、不正につくられた合鍵を使って車に侵入した際にエンジン始動をできなくするものです。



● 衝撃感知式警報機など、盗難防止用警報機を取り付ける。



● ガラス・エッチングを業者に頼む。(車台番号等を窓ガラスに刻印することです。盗難車を簡単に現金化できないため、窃盗団から敬遠されます。)

● ハンドルやタイヤを固定する器具を取り付ける。



被害に遭ってしまったら

● 速やかに警察に通報し、被害を届け出る。(普段から、自分が使用する車両ナンバーを控えておきましょう。)

● 犯行現場を目撃した場合や警報装置の作動に気付いた場合は、「ドロボー」と叫んで周囲に知らせるとともに、すぐに110番通報する。



● 追跡する場合には、無理をせず、警察に逃走方向を知らせる。

● 契約保険会社、運輸支局などにも盗難の連絡をする。